

# たんぼのどじょう

たんぼのどじょう



作：近藤せいけん

「ワァ～、あぶない！」

「にげろや、にげろ！」

一せいに、たんぼのドジョウや、カエルがつちのなかに、にげこむ。

あめんぼうもいねのねもとへ、にげこむ。

「パシャ、パシャ～」 「グ、グルン、グ」 おとをたてながら、しろいおおきなかげがせまってくる。

ドジョウやカエルはつちのなかでいきをころして、じっと、しろいおおきなかげがとおりすぎるのをまっている。

また、おとがする、「パシャ、パシャ～」 「グ、グルン、グ、グ、グ」 「パク、パク～」 おとがちかづく。ながいくちばしが、すぐちかくをつつく。ドジョウのなかまがたべられた。「パク、パク～」 すぐまうえできこえた。

しんどうもかんじた。「ドン、ドン、ドン」 すぐよこがくずされた、「ああ、もう、ダメかな～」

やっと、おとがとおざかる。すこしずつ、おとがとおざかる。

「ホ～よかった、よかった。いったようだ」

あめんぼうのみはりやくが、たんぼのみんなにつげた。

「みんな、しらさぎはとびさったよ！」

「みんな、みんな、でておいでよ！」 「もう、だいじょうぶだよ～」

つちのなかのドジョウが、くびをだした。カエルもでできた。

「アァ～こわかった！」 「もうダメかと、おもったよ。」

でも、「よかった、よかった！」 「ずいぶん、ながくかんじた～」 「ふう～」

あめんぼうも、ドジョウも、カエルもみずもにかおをだした。

「ドジョウさん、カエルさん、きょうもぶじでよかったね」

「あめんぼうさん、あなたのおかげだよ。」

「そうだよ、あめんぼうさんがはやくおしえてくれたから、すぐになげられた」

「ありがとう、ありがとう、あめんぼうさん～」

「ううん、そんなことないよ。みんなたんぼのなかまじゃないか、たすけあうのはあたりまえだよ」

「そうだねえ。みんな、みんな、たんぼのなかま」

ワッハッハッハ、ごがつのはれわたったそらににぎやかなカエルのなきこえがつづき、しょかのかげがふきわたった。

(おわり)